

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 23 年 3 月 2 日

審査機関名 株式会社 JACO CDM

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	鑄造工場における高効率エアーコンプレッサー導入による CO2 排出削減事業
排出削減事業者名	株式会社 明石合銅
排出削減共同実施事業者名	環境経済 株式会社 (その他関連事業者名：－)
事業実施場所	株式会社 明石合銅 石川県白山市横江町 1 4 8 4
事業の概要	鑄造工場のエンジンコンプレッサーで使用している A 重油を電気に代替することにより、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	【全電源炭素排出係数使用】 2010 年度：497 tCO2/年 2011-2012 年度：745 tCO2/年 (事業実施期間合計 1,987 tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2010 年 8 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 025 エアーコンプレッサーの更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイト訪問により確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所： 株式会社 明石合銅（石川県白山市横江町1484）</p> <p>事業サイトの視察日付：2011年2月7日</p>
追加性を有すること	<p>1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、省エネ及びCO2排出量の削減を目的として実施されたことを、削減事業実施者である株式会社明石合銅担当者への質問等により確認した。</p> <p>2) 更新前のエアコンプレッサー6台の内、1台は2006年8月に、残り5台は2007年3月設置されている。法定耐用年数15年の2倍の期間を超えておらず、継続使用可能であったことを確認した。</p> <p>3) 排出削減事業の投資回収年数については、根拠資料、質問および検算により17.9年であることを、根拠データ及び関連証憑と突合することにより正確性を確認した。</p> <p>4) 排出削減事業者は、金属加工の工程に大量の圧縮空気を使用しており、従来はエンジンコンプレッサー（燃料：A重油）を複数台使用し、負荷に応じて手動で運転調整を行っていた。本事業では、エンジンコンプレッサーを高効率の電気式コンプレッサーに更新することに加え、負荷に応じた出力制御を自動化することにより、省エネとともにCO2の排出削減を達成している。また、国内クレジット制度の活用によるPR効果を期待していることを質問等により確認した。</p> <p>以上、本排出削減事業は、追加性を有すると判断できる。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>自主行動計画への参加の有無について、各事業サイト訪問時のヒアリングにより、事業者が業界団体に所属しておらず、自主行動計画に参加していない事を確認した。</p>

排出削減方法論に基づいて実施されること

- 1) 方法論 025「エアーコンプレッサーの更新」に基づき適用条件を満たしていることを確認した。
適用条件1については、事業実施前のエアーコンプレッサーよりも高効率のエアーコンプレッサーに更新されていることを現地審査にて確認した。
適用条件2については、事業実施前のエアーコンプレッサーを継続して使用可能であったことを関係者への質問、視察により確認した。
適用条件3については、エアーコンプレッサーで生産した圧縮空気を自家消費されていることを現地審査にて確認した。
適用条件4については、事業実施後のエアーコンプレッサーで使用される電力量を電力計により把握できることを確認した。
- 2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量の計算方法、モニタリングの方法等が適切である事を、事業者への質問と関連資料の閲覧により確認した。

4. 特記事項

本事業については、補助金の受給を受けていないことを確認した。